



1996-97年度 RI テーマ



ルイス・ビセン・ジアイ
1996-97 RI 会長

■■■ 築け未来を 行動力と先見の眼で ■■■

第2560地区
 ガバナー——吉 田 昭 平
 会 長——捧 賢 一
 会長エレクト——五十嵐 総 一
 副 会 長——細 井 増 雄
 幹 事——五十嵐 昭 一
 副 幹 事——佐 野 勝 栄
 S A A——菊 池 涉
 副 S A A——山 浦 日出夫

例 会 日——毎週水曜日 12:30 ~
 例会場及び——三条市旭町 2-5-10
 事 務 局——三条信用金庫本店
 例 会 場——TEL 35-3311
 事 務 局——TEL 35-3477
 FAX 32-7095

本日出席会員数	77名中 55名
先々週出席率	97.29 %

先週のメイクアップ

10/31 加茂へ 山田富義さん

11/5 三条北へ

三堀正純さん、菊池 涉さん、
 山田富義さん、渋谷健一さん、
 高橋政志さん、渡辺弘栄さん

ビジター

三条南より 宗村輝昭さん

会長挨拶

捧 賢一会長



先日のガバナーの公式訪問も皆さんのご協力のうえて、立派に終わりました。ありがとうございました。

当日は吉田ガバナーを田上にお迎えに行き、紅葉の七谷を越えて下田村に入り、諸橋記念館にご案内致しました。漢学についての造詣が深くおられ、喜んでおられました。

私ども会長・幹事との懇談会が行われ、例会を見ていただき、各委員会の報告をさせていただきました。和気あいあいの内に時間通りピッチリ会議が終わりました。各委員長さんの手慣れた答弁があったからだと思います。そして、ガバナー歓迎会、二次会にも長く付き合ってください、いい会でした。パストガバナーの藤田さん、各役員の方々、皆さん顔見知りの人達が多く、楽しかったのでしょう。

これで、村上における地区大会も終わり、新潟県会長幹事会や十日町、柏崎東、吉田の創立記念式典、それに越後魚沼ロー

タリークラブの認証状伝達式などよく重なったものです。

おまけに私事ですが、白根に事業本部を移転、雪梁舎の釈迦堂の建立などがございましたが、ロータリークラブの方々からもご参加頂き、誠にありがとうございました。

重なるときは重なるものでございまして、二十数年間、ロータリークラブのいちメンバーとして皆さんのお世話になっておりましたが、会長とはこんなにも忙しいものかと、いまさらながら感じる次第でございます。

これから11月、12月を迎え、商いの上では最大の山場を迎えます。4月の創立記念には、まだ日がありますので、しばらくは職業奉仕に精進したいと思います。

いろいろな行事中、会員の大勢の人にお世話になりまして、心から感謝申し上げます。

幹事報告

五十嵐(昭)幹事

◎地区大会実行委員会より

地区大会ご出席お礼状がとどいております。

◎ポールハリス邦訳刊行委員会より

「ポールハリス伝記」

「偉大なる奉仕の先覚者」図書購入申込書がとどいております。

1冊 6,200円

ニコニコBOX



捧 賢一さん

ガバナーの公式訪問、皆さんの協力のもと無事終わりました。ありがとうございました。白根に事業本部移転し雪梁舎の釈迦堂完成しました。

五十嵐昭一さん

村上の地区大会に多くの出席をいただいたこと。ガバナー訪問が無事すんだこと。御協力ありがとうございました。

榎本 勝さん

11月3日、中部航空方面総監より航空祭式典の際感謝状を頂戴して参りました。自衛隊に協力した事についてと言うことでした。

佐々木昌敏さん

11月2日、3日、4日の3日間で5万歩あるきました。健康であることを神様に感謝申しあげまして……。

小林九満太さん

捧会長、五十嵐幹事先週の吉田ガバナー公式訪問を立派に成功させ、おめでとうございます。

中村和彦さん

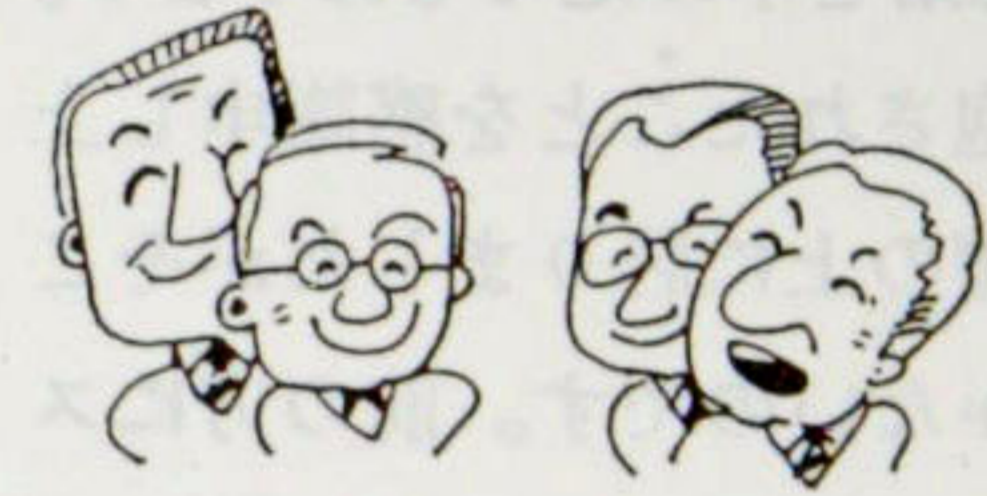
10月4日、下田の光明山へ紅葉見物と登山に行ってきた。7合目は全部紅葉していましたが、頂上はすでに終りかけていました。

佐藤 武さん

藤田先生の卓話楽しみにしております。

11月6日分

¥13,000



卓 話

藤田説量会員



地区大会についてですが、会場等が手狭な感じでテントの中で過ごされた方、時節柄寒い思いもされたかと思いますがロータリーは忍耐を学ぶ処でもあります。皆様よくご辛抱されたことを感謝申し上げます。私は壇の上に居りましたがそこは声がよく届かないのです。前の方にスピーカーが行って後の方は聞こえないのです。話が聞こえずジッと辛抱しているのは大変な苦しさでして。私は学ぶべきことは「忍耐」「待ち」、待ち時間を楽しむことを学ばなければいけないと思います。外国では食堂の入口で案内されるまで待ちます。空席が有っても勝手に行けません。イライラして待つのではなく悠々としている彼等を視ていますと談笑しながら待っているんですね。日本人は「何してんだ、早くやれ」と言いますが彼等は、待ちの時間を楽しんでいるのです。決してアセらない。ロータリーは忍耐を学ぶ処だと言うのが私の最近の心境であ

ります。

10年前ガバナーを命ぜられた時、ポリオプラスと言う計画で5年間1人8千円づつの拠出をして頂いて小児マヒ及びプラス5と言う子供の病気、それは結核、ハシカ、百日ゼキ、おたふくカゼ・ジフテリアの病気に混合ワクチンを施して絶くすると言う運動が展開されました。これは大変な問題でして、なぜかと言うとそれまではロータリーは何事も続ける奉仕はやらないと言うことが信条でした。その会長の持味でその年の奉仕活動をやるということが教えられておりました。5年間続けてやると言うことはその大前提に反するものですが、私はその時なぜポリオプラスに賛成したかと申しますと、このロータリーは世界の平和を謳っているが、平和の為に何が出来たかと言うと疑問であります。世界中に戦争を止めさせる、原子爆弾を止めさせる力がロータリーには無い。私の前の年に初めてこのポリオプラス計画が出て来ました。前任ガバナーが辞める時に「受けてやります。」と決定してその遺言状を残して行きました。実際にやらされたのは私達の年度であります。方々へ行って1人8千円の拠出を願うことは大変な抵抗も有りました。それはロータリーの今までのやり方に反するじゃないかと。私がお話をしましたのは、世界の動きの中で中心になりましたのがユニセフであります。ユニセフとは昭和21年に出来た。出来た理由に日本の敗戦国の子供達を救うと言うこ

とが大きなテーマであった。ですから敗戦の日本に食糧を配給してくれまして児童達が栄養失調にもならず成長できたことの実績が有ります。その恩恵に浴した大なるところは身を通じて理解をしております。その中心になるユニセフに応えるにはこの仕事しかないと思ったから賛成をしたのです。皆様の協力を得まして募金が完了致しました。世界中でこの資金が有ればポリオプラス計画は充分遂行出来る、ポリオが全滅しますと言う予想の元に完了を発表した訳です。ところが意外な問題点が有りまして、電気も無い山の中に冷凍された薬を運ぶことの難しさ、未開の人に薬を飲ませることの難しさ。実際の運動をやりますと難しい諸問題が出て来ました。世界からこれを駆逐することが完了したと言う報告は一度はしたけれどそうはいかないと解かりまして第二期の計画が出ておる様でもあります。もう一つの問題はポリオその他の病気で亡くなることは未開の国では自然淘汰と言う意識が有って人口が減る、それは悲しいことにそれに伝わって食糧事情がうまく回転するんだと言う考え方もあったのです。亡くなった子供達が生き残ったとすればその人達の食糧が問題となるのです。先般テレビで飢餓救済運動を展開しようと呼びかけがありました。おそらくロータリーもこの協力をせざるを得ないし協力をすべき問題だと思えます。これから国際的な視野の中でこのような問題が続いて起って来ることが予想される

と言う私の気持をお伝えする訳であります。その節は皆様と共に協力してやりたいと思えます。

例会案内

三条RC	11月20日例会	卓話	野村竹三郎会員
	11月27日例会		RAC年次大会報告

メイクアップをどうぞ

三条南RC	11月18日例会		ガバナー公式訪問
	11月25日例会		「ロータリー財団月間」

三条北RC	11月19日例会		ガバナー公式訪問
	11月26日例会	卓話	平松利朗会員

燕RC	11月21日例会		ガバナー公式訪問
	11月28日例会	移動例会	於 二木松あだたらRC

加茂RC	11月21日例会		職業奉仕表彰式
	11月28日例会	卓話	「女性会員シリーズ」

見附RC	11月21日例会	卓話	那須国重会員
	11月28日例会	卓話	西川 進会員
